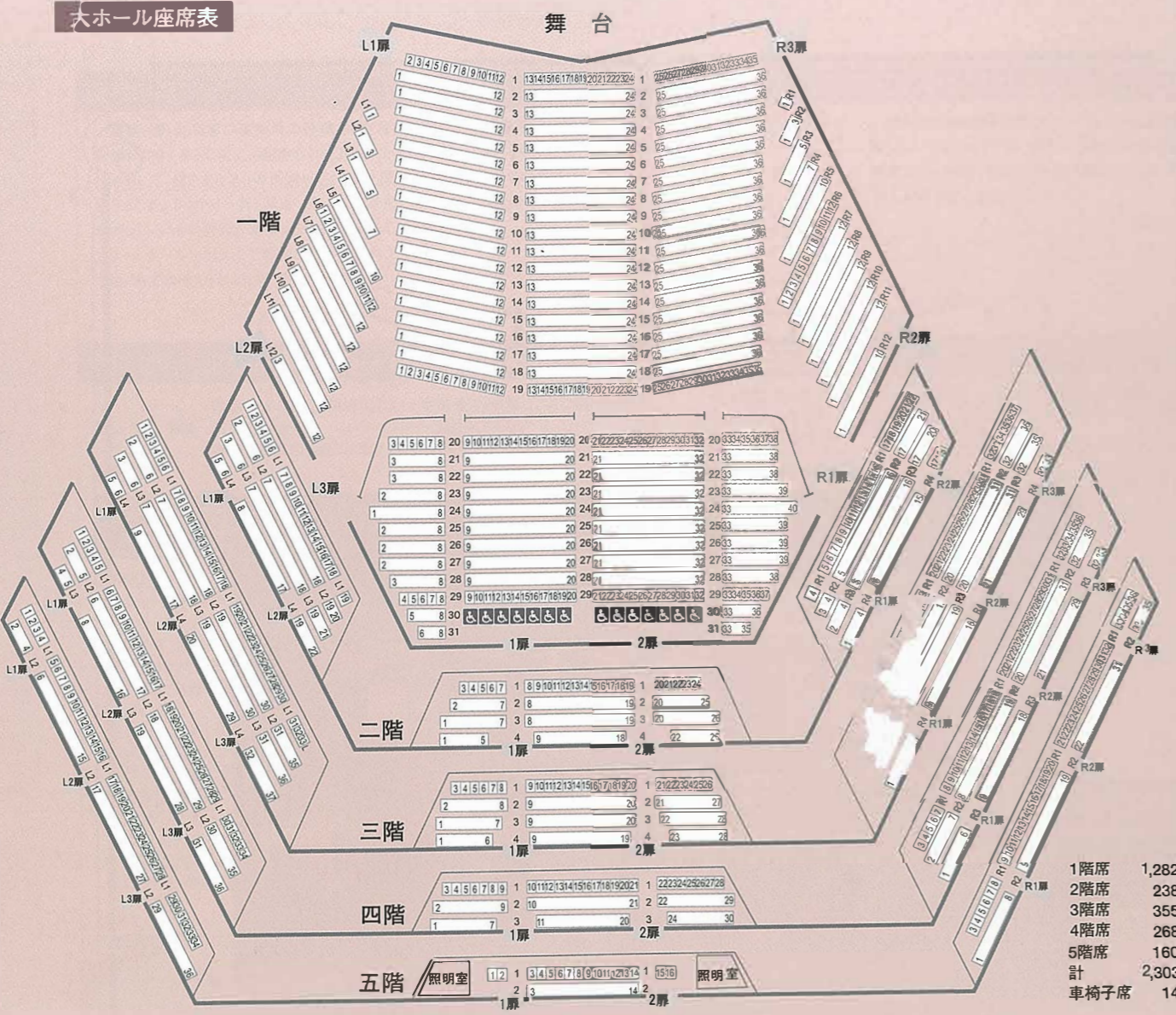
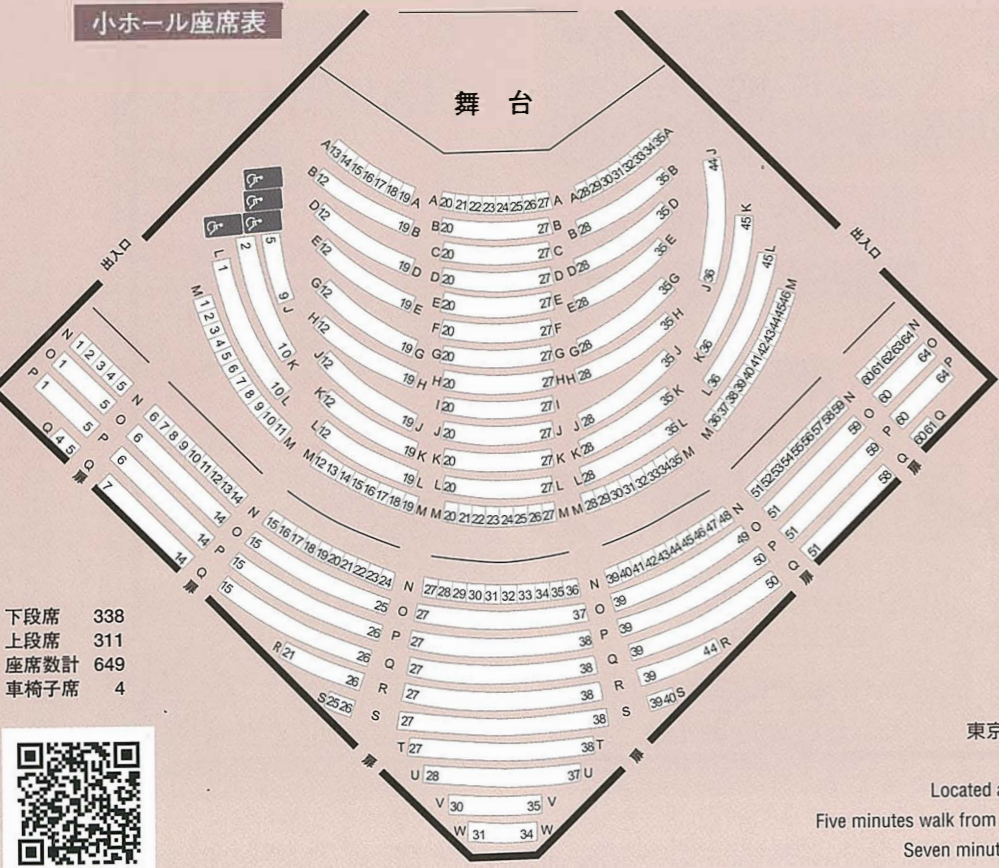


大ホール座席表



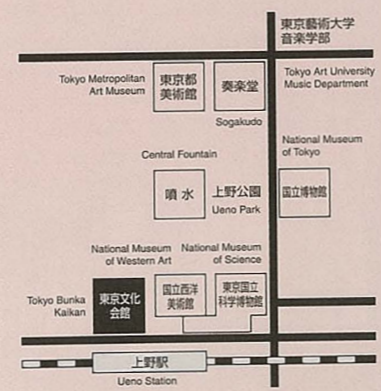
小ホール座席表



下段席 338
上段席 311
座席数計 649
車椅子席 4



東京文化会館モバイルサイト



JR線「上野駅」公園口前
東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
京成線「京成上野駅」徒歩7分
Located across from the Koenguchi exit of JR Ueno Station
Five minutes walk from Ueno Station of the Ginza and Hibiya subway lines
Seven minutes walk from Keiseiueno Station of the Keisei lines

音脈

Vol.39
2010 Summer

2010年5月31日発行
発行 東京文化会館
編集 東京文化会館事業企画課
印刷 日本印刷(株)

F110-8716 東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111 (代表)
http://www.t-dunka.jp/
E-mail: ot0@t-dunka.jp

東京文化会館公演情報
2010年7月~9月

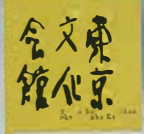
音脈



Vol.39
2010 Summer

CONTENTS

- 夏@東京文化会館 2
- 青少年のための舞台芸術体験プログラム 6
- インフォメーション information 7
- 開館50周年に向けて 8
- 木之下見のレンズは語る 12
- 夏の公演から 13
- 催し物案内7月~9月 14
- 音楽資料室より Music Library 20
- 都響ニュースVol.16 21
- 読者プレゼント 他 22



夏@東京文化会館

音楽三昧の7日間

7月30日(金)~8月5日(木)



大友直人 ©Kaburagi-amanagroup

東京文化会館では、7月30日(金)から8月5日(木)までの7日間を「夏@東京文化会館」と題して、バラエティ豊かな催し物を揃え、夏休みを東京文化会館で楽しく過ごしていただく特別期間としました。

期間中、大ホールでは毎年恒例の音楽会と上野の森にある美術館・博物館などのパスポートをセットにした「夏休み子ども音楽会」、そして日本を代表するピアニスト、清水和音氏が一晚でピアノコンチェルトの名曲3曲に挑む「響の森」vol.28を開催します。

また小ホールでは新進気鋭の天才アーティストが上質な音楽をお届けする「夏の音楽浴」と、毎月小ホールにて午前11時から実施しているモーニングコンサートの夏休み特別バージョンを、入場料500円で行ないます。そして毎回ご好評により即完売の「バックステージツアー」を、夏休みバージョンで計3回、各回100名様のご定員で実施します。

皆様にお楽しみいただけるよう、工夫を凝らした期間にさせていただきますので、是非この機会に東京文化会館にお越しいただき、「夏@東京文化会館」をお楽しみください。

東京文化会館音楽監督 大友直人

公演スケジュール

日程	公演名	開演時間	場所	公演詳細
7月30日(金)	夏休みモーニングコンサート ピアノトリオが放つ虹色クラシック	11:00	小ホール	P5
7月31日(土)	夏の音楽浴I 宮田大 チェロリサイタル	14:00	小ホール	
8月1日(日)	夏の音楽浴II 北村朋幹 ピアノリサイタル	14:00	小ホール	P4
8月2日(月)	東京文化会館《響の森》vol.28 清水和音 3大ピアノコンチェルトに挑む	19:00	大ホール	
8月3日(火)	夏休みモーニングコンサート ソプラノデュオの美しいクラシック	11:00	小ホール	P5
8月4日(水)	夏休み子ども音楽会2010《上野の森文化探検》	11:00	大ホール	P3
	夏休みバックステージツアー	13:30	大ホール	
8月5日(木)	夏休みバックステージツアー	11:00 14:00	大ホール 大ホール	

♪ 夏休み子ども音楽会2010《上野の森文化探検》

名曲コンサートに動物園、博物館、美術館等(8施設)の入場パスポート特典がついて、¥1,000~¥3,000!!
上野の森で夏休みの思い出をたくさん作ってください。

■8月4日(水) 11:00開演(12:00終演予定)(10:30開場) ■会場/東京文化会館大ホール

- 出演 指揮とお話●大友直人 管弦楽●東京都交響楽団
- 曲目 ワーグナー/歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲
ヨハン・シュトラウス2世/ポルカ「狩」
チャイコフスキー/交響曲第6番 口短調「悲愴」より第2楽章
ブリテン/「シンプル・シンフォニー」より第2楽章
フォーレ/パヴァーヌ
ジョン・ウィリアムズ/交響組曲「スター・ウォーズ」より
“王座の間とエンド・タイトル”
坂本龍一/映画「戦場のメリークリスマス」テーマ
富田勲/「新日本紀行」オープニングテーマ
レスピーギ/交響詩「ローマの松」より “アッピア街道の松”

- 料金 (参加施設常設展無料入場・企画展割引等を含む)
小中学生 1,000円(全席共通)
大人 S席3,000円 A席2,000円 B席1,000円
友の会会員S席2,500円

*小・中学生の方は年齢が確認できるものをご持参ください。
*託児サービス(音楽会のみ・要予約・有料・7/28締切)があります。
イベント託児・マザーズ 0120-788-222

- 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)・上野地区観光まちづくり推進会議
- 参加施設 東京国立博物館・国立科学博物館・国立西洋美術館・国立国会図書館国際子ども図書館・東京都恩賜上野動物園・旧岩崎邸庭園・下町風俗資料館・旧東京音楽学校奏楽堂
- 協力 上野のれん会

チケット取扱い

TS [Pコード104-221] [Lコード36196] e+



「特典パスポート」利用施設のご案内

(利用施設)	開館時間	常設展	特別展・企画展
東京国立博物館	9:30~17:00 (入館は16:30まで)	○	×(小中学生無料)
国立科学博物館	9:00~17:00 (入館は16:30まで)	○	割引*1
国立西洋美術館	9:30~17:30 (入館は17:00まで)	○	×(小中学生無料)
国立国会図書館 国際子ども図書館	9:30~17:00		○
東京都恩賜上野動物園	9:30~17:00 (入園は16:00まで)		○
旧岩崎邸庭園	9:00~17:00 (入館は16:30まで)		プレゼント*2(小中学生無料)
下町風俗資料館	9:30~20:30 (入館は20:00まで)		○
旧東京音楽学校奏楽堂	9:30~12:00		○

*1 チケット半券とパスポートの引き換え時に、割引券付チラシをお渡ししますので、企画展券売所でご提示ください。
*2 旧岩崎邸庭園は、通常料金ですがご来園者にポストカードをプレゼントいたします。

♪ 夏休みバックステージツアー

お待ちいたしました!普段は中学生以上からのご参加の「東京文化会館バックステージツアー」を夏休みバージョンで開催します。小学生以上の皆さまに、普段は見ることのできない舞台裏などをご案内します。

- 第1回 8月4日(水) 13:15集合 13:30開始
 - 第2回 8月5日(木) 10:45集合 11:00開始
 - 第3回 8月5日(木) 13:45集合 14:00開始
- 会場/東京文化会館大ホール

- 所要時間 約1時間
 - 定員 各回100名
 - 対象 小学生以上
 - 参加費 200円(保険料含む)
 - 発売日 6月6日(日)
- ご注意
※小学生の皆さまは、必ず保護者の方とお越しください。
※階段の昇降がありますので、あらかじめご了承ください。
※未就学児童の入場はご遠慮いただいております

チケット取扱い TS

東京文化会館《響の森》vol.28 清水和音 3大ピアノコンチェルトに挑む

東京文化会館では、2007年6月《響の森》vol.23「中村紘子のベートーヴェン〜ピアノ協奏曲全曲演奏会」、2009年7月《響の森》vol.26「中村紘子 ピアノ協奏曲の夕べ」と、一日でピアノ協奏曲を複数曲演奏するという企画に力を入れ好評を博しました。この二度にわたるピアノ協奏曲演奏を受けて、東京文化会館音楽監督大友直人が今回自信をもって指名したのが、清水和音。弱冠20歳でパリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門で優勝し、国内外で活躍している日本が誇る実力派ピアニストです。今回、大友と清水が強力なタッグを組み、一晩でドイツ、ハンガリー、ロシアを旅する意欲的な挑戦が実現します。二人が選んだ曲目は、ベートーヴェンの第3番にリストの第1番、ラフマニノフの第3番とボリュームたっぷり。清水の好きな食べ物に例えるなら、すべてがフランス料理のメインディッシュ。極上のレシピをご堪能ください。

■8月2日(月)19:00開演(18:20開場) ■会場/東京文化会館大ホール

- 出演 指揮●大友直人 ピアノ●清水和音 管弦楽●東京都交響楽団
- 曲目 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 op.37
リスト/ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番 二短調 op.30
- 料金 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円
友の会会員 S席4,800円 A席3,200円
都響会員 S席5,400円 A席3,600円 (ほか各種割引あり)
- 協力 東京都交響楽団

※託児サービス(要予約・有料・7/26(月)締切)があります。(株)マザーズ0120-788-222

チケット取扱い TS 都響 (Pコード103-532)



清水和音 ©K.Miura

夏の音楽浴 ~夏@東京文化会館の人気企画!~

夏@東京文化会館の人気企画に新進気鋭の天才アーティストが登場! 若き天才たちが奏でる真夏のクラシックコンサートをお届けします。

■7月31日(土)/8月1日(日)14:00開演(13:30開場) ■会場/東京文化会館小ホール

●7月31日(土)【夏の音楽浴I 宮田大 チェロリサイタル】

昨年、世界最高峰といわれるチェロの国際コンクール「ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール」で日本人初の優勝を成し遂げた若き天才チェリスト・宮田大がその実力を披露します。

- 出演 チェロ●宮田大 *第9回ロストロポーヴィチ国際チェロコンクール優勝
ピアノ●柳谷良輔
- 曲目 C.プロコフィエフ/チェロとピアノのソナタ ハ長調 op.119
黛敏郎/BUNRAKU
R.シュトラウス/チェロ・ソナタ ハ長調 op.6 (ほか)



宮田大

●8月1日(日)【夏の音楽浴II 北村朋幹 ピアノリサイタル】

弱冠19歳ながら既に全国の劇場で活躍する天才ピアニスト・北村朋幹。「浜松国際ピアノコンクール」入賞という経歴だけでなく、第3回東京音楽コンクール優勝者でもあります。今回は全曲バーゼンドルファーによるリサイタルに挑戦します。

- 出演 ピアノ●北村朋幹 *第3回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および審査員大賞
- 曲目 武満徹/子どものためのピアノ小品 I.微風 II.雲
武満徹/雨の樹素猫II ~オリヴィエ・メシアンへの追憶に~
J.S.バッハ/イギリス組曲 第3番 短調 BWV.808
J.S.バッハ(F.ブゾーニ編)/シャコンヌ(ヴァイオリンのためのバルティータ 第2番 二短調 BWV.1004より第5曲)
R.シューマン/子どもの情景 op.15
R.シューマン/幻想曲 ハ長調 op.17



北村朋幹

- 料金 全席指定3,000円(1回券) ペア券 5,000円
2公演セット券 (TSのみ取扱い) 5,000円

チケット取扱い TS (Pコード(7/31)106-904 (8/1)106-905) (Lコード(7/31)37045 (8/1)37046)

夏休みモーニングコンサート ~500円で楽しむクラシック!~

■7月30日(金)/8月3日(火)11:00-12:00(開場10:30) ■会場/東京文化会館小ホール

●7月30日(金)【ピアノトリオが放つ虹色クラシック】

- 出演 Trio Prism(トリオプリズム)
ヴァイオリン●瀧村依里 *第3回東京音楽コンクール弦楽部門第1位
チェロ●伊藤文嗣
ピアノ●入江一雄
- 曲目 ハイドン/ピアノ三重奏曲ト長調 Hob.XV-25より 第3楽章 ハンガリー風ロンド
ヘンデル/パッサカリア(ヴァイオリン&チェロ)
ベートーヴェン/ピアノ三重奏曲 第5番 二長調 op.70-1「幽霊」より 第2楽章
メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 op.49

ヴァイオリン 瀧村依里さんからのメッセージ
はじめまして。ヴァイオリンの瀧村依里です。7月30日「夏休みモーニングコンサート【ピアノトリオが放つ虹色クラシック】」にTrio Prism(トリオプリズム)で出演します。Trio Prismという名前には、プリズムから放たれる虹のような演奏を届けたいという思いを込めました。昨年の春に結成したばかりで、メンバーは同じ東京藝術大学大学院に通っている、チェロの伊藤文嗣、ピアノの入江一雄と私の3名です。さて、今回はハイドン、ヘンデルから、ベートーヴェン、メンデルスゾーンまで、さまざまな曲を演奏します。その中でもメンデルスゾーンのピアノ三重奏曲第1番は30分ほどの大曲ですが、とても美しく親しみやすい旋律なので、心地良く聴くことができ、数あるピアノ三重奏曲の中でも大変人気のある曲の一つです。ぜひこの機会にピアノトリオの楽しさを一緒に楽しんでいただけたらうれしいです。



Trio Prism ©S.Imura

●8月3日(火)【ソプラノデュオの美しいクラシック】

- 出演 ソプラノ●駒井ゆり子 *第1回東京音楽コンクール声楽部門第2位
ソプラノ●田中麻理 *第1回東京音楽コンクール声楽部門入選
ピアノ●岩撫智子

《第1部》~ソプラノ・デュオの響き~
ヘンデル、メンデルスゾーン、フォーレの歌曲から
《第2部》~オリジナル・オペレッタ『お料理・ボンジュール』~
ブッチーニのオペラ『蝶々夫人』やJ.シュトラウスのオペレッタ『こうもり』
などの名曲が次々に登場するオリジナル・オペレッタ

- 料金 全席自由500円(1回券)
*電話申込のほか、全国ローソン店頭ロビーで直接購入ができます。



駒井ゆり子

田中麻理

岩撫智子

ソプラノ 駒井ゆり子さんからのメッセージ
皆さま、こんにちは!「夏休みモーニングコンサート」の2日目、8月3日にお目にかかります、ソプラノの駒井ゆり子です。この日のコンサートは、同じくソプラノの田中麻理との「オリジナル・オペレッタ」を上演予定です!その名も「お料理・ボンジュール」。テレビのお料理番組のパロディですが、内容は大変賑やかで楽しく、ちょっと笑えるコンサート。そして、挿入される音楽はクラシックの王道であるオペラ『蝶々夫人』から、あまり聴く機会の少ないバーンスタイン「美味しいお料理」まで幅広く、皆様の心も満たす音楽のオンパレードです。前半はヘンデルやフォーレの歌曲など、ソプラノデュオの珠玉の名曲をお届けいたします。夏の爽やかな朝に、皆様と一緒に「音楽」と「笑い」を共有できることを楽しみにしております。

チケット取扱い TS (Lコード 2公演共通36364)

◎チケットのお申込みは下記へ

- TS 東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650(10:00-19:00、休館日を除く)
- チケットぴあ ☎0570-02-9999
- ローソン・チケット ☎0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)
- イープラス ☎http://eplus.jp/
- 都響ガイド ☎03-3822-0727

※各種割引・東京文化会館友の会のチケット取り扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

◎主催&お問合せ=東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表) http://www.t-bunka.jp/

※公演は都合により曲目等、変更の可能性がございますので、ご了承ください。また、未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

「東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム」 2010年度も引き続き開催中!



英国ロイヤル・バレエ団/財団法人日本舞台芸術振興会 ©Bill Cooper

開催スケジュール(2010年度上半期) ※すべて公開ゲネプロとなります。

日程	公演名	ジャンル	本公演主催者
5/13(木)	東京バレエ団「オネーギン」	バレエ	(財)日本舞台芸術振興会
6/18(金)	英国ロイヤル・バレエ団「リーズの結婚」	バレエ	(財)日本舞台芸術振興会 他
7/14(水)	東京二期会「ファウストの劫罰」	オペラ	(財)東京二期会
9/10(金)(予定)	英国ロイヤル・オペラ「マノン」	オペラ	(財)日本舞台芸術振興会
10/8(金)	オーストラリア・バレエ団「白鳥の湖」	バレエ	(財)日本舞台芸術振興会
10/18(月)	東京都交響楽団 第704回定期演奏会	オーケストラ	(財)東京都交響楽団

※下半期(11月以降)のプログラムについては、決まり次第、ホームページ、チラシ等でお知らせいたします。

「東京文化発信プロジェクト」の一環として、2009年度から始まった「青少年のための舞台芸術体験プログラム」。東京文化会館大ホールで行われる世界的な歌劇場、バレエ団、オーケストラの公演のゲネプロ(最終的な通しリハーサル)を、青少年を対象に公開する本プログラムは、初年度1,000名を超える青少年の皆様にご来場いただきました。

参加者からは、「生の舞台を本番とは異なる形で味わうことができ、大変勉強になりました」、「初めてオペラを見たので、初めはどう見ているのか分からなかったのですが、最後は完全に見入っていました」といった感激の声とともに、「ぜひまた参加したいです。今後も続けてください」との要望が多数寄せられました。

2010年度も、東京文化会館ならではの質の高い多彩なプログラムが勢揃い。英国ロイヤル・オペラ、英国ロイヤル・バレエ団、オーストラリア・バレエ団や東京二期会、東京バレエ団、東京都交響楽団など、国内外の一流の芸術団体によるゲネプロ公開を予定しています。

各プログラムの日時、定員、申込受付期間等の詳細は、決まり次第、東京文化会館ホームページでご案内してまいります。最新情報をご確認の上、お申込みください。多数のご応募をお待ちしております。

対象 舞台美術を勉強している、あるいは公演に関心のある中学生、高校生および25歳以下の学生の方
※中学生は団体申込のみ(引率者が必要)

事前申込制

申込方法

- ①個人で参加希望の場合
パソコン及び携帯電話により、東京文化会館ホームページからお申込みください。
初回のみ、会員登録が必要です。
- ②団体で参加希望の場合
専用の「団体参加申込書」(東京文化会館ホームページよりダウンロード)によりファクスでお申込みください。

参加費 無料。ただし、個人で参加される場合、入場券発行システム利用料350円は参加者負担。

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力 財団法人東京都交響楽団、財団法人東京二期会、財団法人日本舞台芸術振興会

お問合せ 東京文化会館 経営管理課 TEL: 03-3828-2111(代表) <http://www.t-bunka.jp/>

ティータイムコンサート

7月2日(金) 13:00~
会場 大ホールロビー
出演 ヴァイオリン ●高田はるみ ハープ ●山崎祐介
料金 無料
主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京都交響楽団

第8回東京音楽コンクール第2次予選(セミファイナル)

7月12日(月) 金管部門/7月13日(火) 弦楽部門 各日10:30開演(10:00開場)
 7月18日(日) 声楽部門/7月19日(月祝) ピアノ部門
会場 小ホール
料金 全席自由 各部門500円 ※詳細は16ページをご覧ください。
チケット取扱い TS

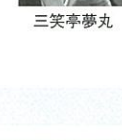
第8回東京音楽コンクール 本選(ファイナル)

8月23日(月) 声楽部門/8月24日(火) 金管部門 各日18:00開演(17:30開場)
 8月26日(木) ピアノ部門/8月27日(金) 弦楽部門
会場 東京芸術劇場大ホール(池袋) ※東京文化会館改修工事休館のため、会場は東京芸術劇場となります。
料金 一般2,000円(全席自由)/シルバー(65歳以上)、ハンディキャップ、友の会会員1,500円
 ジュニア(18歳未満)・学生1,000円 ※詳細は16ページをご覧ください。
チケット取扱い TS 東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707

東京文化会館モーニングコンサート

500円で楽しむ、朝の一時間コンサート。
 11:00-12:00(10:30開場)

会場 小ホール
Vol.39 7月23日(金)
出演 ソプラノ ●高橋さやか ※第7回東京音楽コンクール声楽部門第3位
 ピアノ ●千葉かほる
曲目 ロッシーニ/歌劇「セヴィリアの理髪師」より「今の歌声は」
 シャルル・ルンティエ/歌劇「ルイーズ」より「その日から」 ほか
Vol.40 9月15日(水)
出演 ピアノ ●加藤大樹 ※第7回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞
曲目 ショパン/ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 op.58 ほか
Vol.41 10月7日(木)
出演 ヴイオリン ●大島 亮 ※第7回東京音楽コンクール弦楽部門第1位
 ピアノ ●鈴木慎崇
曲目 エネスコ/演奏会用小品
 シューマン/おとぎの絵本 op.113
 プラムス/ヴィオラ・ソナタ第2番 変ホ長調 op.120-2
Vol.42 11月12日(金)
出演 ピアノ ●石井楓子 ※第6回東京音楽コンクールピアノ部門第2位
曲目 シューマン/アベック変奏曲 op.1
 ショパン/スケルツォ第4番 ホ長調 op.54 ほか
Vol.43 12月3日(金)
出演 ソプラノ ●市原 愛 ※第6回東京音楽コンクール声楽部門第3位
 ピアノ ●越知晴子
曲目 バッハ/すべての地で、神に歓喜の声を BWV.51
 シューベルト/アヴェ・マリア ほか
料金 全席自由500円(一回券)
 Vol.39チケット発売中/Vol.40-43:6月30日(水)発売予定
協賛 上野中央通り商店会
チケット取扱い TS



東京文化会館プレミアムコンサート アンドレア・グリミネリ/相沢史江子 デュオリサイタル

10月1日(金) 19:00開演(18:30開場)
会場 小ホール
出演 フルーツ ●アンドレア・グリミネリ
 ピアノ ●相沢史江子
曲目 ブーラン/フルート・ソナタ
 ポップ/リコレットの主題による幻想曲
 モルラッキ/ロッシーニの「エジプトのモーゼ」による幻想曲
 フランク/フルート・ソナタ(ヴァイオリン・ソナタ)
 ビゼー〜ホルン/カルメン幻想曲
料金 全席指定 4,000円 ベア券 7,000円
 チケット発売日/6月18日(金)一般発売 ※6月14日(月)友の会先行発売
チケット取扱い TS



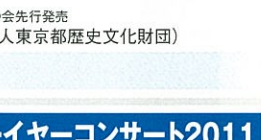
レクチャーコンサート2010-2011シーズン 「祖国への愛」シリーズ(全5回)

小ホール649席の贅沢な空間で、第一線で活躍する旬のアーティストによるレクチャーと演奏を楽しむ、年間5回のコンサートシリーズ
会場 小ホール
第2回「ショパン後のポーランド音楽」
 10月16日(土) 14:00開演(13:30開場)
出演 ナビゲーター&ヴァイオリン ●コンスタンティン・カカ ピアノ ●平澤真希
曲目 シマノフスキ/ソナタ 二短調 op.9
 ヴィエニャフスキ/華麗なる大ポロネーズ 二長調 op.4 ほか
第3回「ドイツ浪漫からの道」
 11月26日(金) 19:00開演(18:30開場)
出演 ナビゲーター&ソプラノ ●平松英子 ピアノ ●山田武彦
曲目 R.シュトラウス/眠りにつくと、G.マーラー/私はこの世に忘れられ
 山田耕祥/この道 ほか
料金 S席3,800円 A席2,800円 B席1,000円 ※各種割引あり
 チケット発売日/第2回 7月11日(日)一般発売 ※7月4日(日)友の会先行発売
 第3回 8月1日(日)一般発売 ※7月25日(日)友の会先行発売
チケット取扱い TS



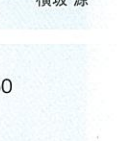
上野中央通り商店会Presents 東京文化会館オペラBOX「奥様女中」

ベルコラージュ生誕300年小ホールの空間を存分に使い、1本まるまる楽しめる喜劇をお届け!
 10月23日(土) 14:00開演(13:30開場)
会場 小ホール
出演 彌勒 忠史
出演 セルビーナ ●鷲尾 麻衣(ソプラノ)
 ※第7回東京音楽コンクール声楽部門第2位
 ウェルト ●島山 茂(バスバト)
 ヴェスポーネ ●島田 道生
料金 全席指定 3,000円 ※各種割引あり
 チケット発売日/7月21日(水)一般発売 ※7月14日(水)友の会先行発売
主催 上野中央通り商店会、東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
チケット取扱い TS



東京文化会館「響の森」vol.29 ニューイヤークンサート2011

アンバーサリー作曲家の名曲とウィナーワルツで祝うお正月
 オーケストラの聴き初めは「クラシックの殿堂」東京文化会館で
 1月3日(月) 15:00開演(14:20開場)
会場 大ホール
出演 指揮 ●大友直人 チェロ ●横坂 源 管弦楽 ●東京都交響楽団
 ヨハン・シュトラウス2世/春の声 op.410
 ドヴォルジャーク/チェロ協奏曲 口短調 op.104
 ドヴォルジャーク/交響曲第9番 水短調 op.95「新世界より」
料金 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円
 12/25(土)都響「第九」とのセット券 S席4,800円 A席3,200円
 (200組限定)
 友の会会員 S席4,800円 A席3,200円
 都響会員 S席5,400円 A席3,600円 ほか各種割引あり
 チケット発売日/9月8日(水)[9月1日(水)友の会会員・都響会員先行発売]
チケット取扱い TS



チケットのお申込みは下記へ
 TS 東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650
 チケットぴあ ☎0570-02-9999
 イープラス ☎http://eplus.jp/
 ローソンチケット/クラシック・演劇専用回線 ☎0570-000-407
 都響ガイド ☎03-3822-0727 (オペレーター対応10時~20時)
 ※各種割引:東京文化会館友の会のチケット取扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

主催&お問合せ=東京文化会館事業企画課
 03-3828-2111(代表) <http://www.t-bunka.jp/>
 ※公演は都合により曲目等、変更の可能性がございますので、ご了承ください。
 また、未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

今回は、長年、東京文化会館で数多くのオペラ公演に接してこられた音楽評論家の堀内修さんにご寄稿いただきました。

オペラと高揚感と東京文化会館 堀内 修

東京文化会館が私のオペラ・ハウスである。なんて言ったら袋叩きにされるに決まっているから、あわてて言い直そう。オペラが好きな皆さんと同じように、私にとっても、東京文化会館が、オペラ・ハウスなのです。もちろん人に聞こえないよう、小さな声で「私の」と言う。

現在はほとんど通っている状態なので、すっかり忘れていたけれど、何かの拍子で思い出す。オペラの高揚感、劇場の高揚感だ。

最近では東京・春・音楽祭で上演されたワーグナー《パルジファル》で、その高揚がよみがえった。第1幕が終わった後だった。拍手が起った。演奏が良かったのだから当然なのだが、この舞台神聖祝典劇、かつては拍手しない習慣だった。その後ワーグナーが求めたのは第1幕の後だけで、第2・第3幕の後はかまわない、ということになった。いままではパイロイト音楽祭でさえ、第1幕の後も拍手が起る。

あの夜、聖餐の儀式が終り、騎士グルネマンツが失望して《パルジファル》第1幕の幕がおりた時、東京文化会館はしんと静まりかえった。1967年7月で、二期会と都民劇場によるこの上演が、《パルジファル》の日本初演だった。その時配られたチラシを見ながらこれを書い

ているのだが、2つの注意が記されている。まず「ご入場について」で、開演5分前にファンファーレが奏されるから、すぐに着席するように。次が「拍手について」で、拍手しないのが慣習なのでよろしく、という内容だ。皆これをしっかり守ったわけだ。

開演前ロビーにいる時からして、集まった人々がソワソワしているのがよくわかった。さあ《パルジファル》だぞ。いよいよあの大変な作品だぞ。日本で初めてだぞ。ファンファーレが鳴るぞ。拍手はいけないだぞ。もちろん十代の少年、つまり私も、高ぶった気分だった。

《パルジファル》には特別な事情があったが、高揚感では「イタリア歌劇団」にはかなわなかったろう。戦後日本の文化的大事件だったNHKイタリア・オペラは、1961年の第3回から、東京文化会館を会場にしている。ついに東京にもオペラにふさわしい会場ができた、誰もが感じていたのだろう。その会場に出かける。しかも現在のように毎年海外の一流歌劇団が日本公演を行なう時代ではなかった。皆さんいまよりも着飾っていたのではなかったろうか。学生服で出かけた自分が恥かしかつたのを、よく憶えている。券は決して安くはな



2010年4月 東京・春・音楽祭—東京のオペラの森2010— 東京春祭ワーグナー・シリーズvol.1 舞台神聖祝典劇「パルジファル」演奏会形式
写真提供:東京・春・音楽祭実行委員会 ©青柳 聡

かったのだけれど、気にしない人が多かったはず。一年に何回かではなくて、何年かに一回の祝典だったのだから。

出来たばかりの東京文化会館で、主に聴いたのはオーケストラのコンサートだったから、いつもが特別の場になるわけじゃないと、よく承知していたのだけれど、それでもここが特別な場所であると感じていた。どうしてなのだろう?当時それほど考えたわけではないが、ここは違っていた。寄席とも、歌舞伎座とも。東京にオペラ・ハウスがないわけではなかった。1911年に開場した帝国劇場が、関東大震災や第2次世界大戦を越え、完全な姿ではないにせよ、生き残っていた。しかし私の知る帝劇は、シネマ映画を上映する映画館で、オペラの劇場ではなかった。つまり、東京文化会館を特別な場所にしたのは、オペラそのものなのだと、いまならはっきりわかる。

ちょうどオペラを聴き始めようという時にオペラの拠点が出来たのは、なんと幸運だったことか。反対側から見ることだってできる。新しく出来た劇場が、ひとりの少年にオペラへの道を指し示したのだ。その後ウィーン国立歌劇場やミラノのスカラ座、ロンドンのコヴェントガーデンやバイエルン国立歌劇場などでオペラを聴くようになったのだが、そこで自然にオペラを味わえたのは、自分に基準となる劇場があったからではなかったろうか。伝統がある華麗な歌劇場の数々に、恐れることなく足を踏み入れ、上演される水準の高いオペラの数々を、魅了されつつも、気圧されることなく堪能できた。だって、シックな会場で、まだ多くはなかったけれど、オペラが聴ける町からやってきていたのだから。そしていま、たくさんの方が基準を手に入れ、外国の歌劇場にてかける時代になっている。

祝祭的オペラの数々

一体何度、東京文化会館は祝祭の場となったことだろう。思い出してゆきだけでも気持ちが高まる。たとえばミラノ・スカラ座が初めて日本公演を行なった時だ。1981年の9月だった。4つのオペラのうち2つが東京文化会館で上演された。クラウディオ・アバドが指揮するヴェルディ《シモン・ボッカネグラ》と、カルロス・クライバーが指揮するプッチーニ《ラ・ボエーム》だ。

初めての日本公演、初めての大きかりな引越し公演ということで、スカラ座が力を入れていたのはまちがいない。これがスカラ座だ、という最高の演目が、強力なメンバーで用意されていた。戦後スカラ座が制作した最高の上演とまで言われたのが、ジョルジョ・ストレーレ演出による《シモン・ボッカネグラ》だった。フランコ・ゼッフィレッリ演

出の《ラ・ボエーム》は、ミレッラ・フレーニがミミを歌い、カルロス・クライバーが指揮した。

スカラ座側が日本の事情を理解していたのかどうかはわからないのだが、日本では誰もがこのミラノにある歌劇場の名を知っていた。日本中にその名を冠した映画館があったからだ。スカラ座は立派な劇場の代名詞だった。そしてオペラ好きなら誰もが、「オペラの殿堂」(古めかしくていい呼び方ですね)スカラ座を知っていた。イタリア・オペラの最高峰で、世界のオペラ界に君臨するオペラ劇場であると、すでに知られていた。だがスカラ座は、最初の公演でスカラ座の威力、オペラの凄味をはっきり示そうとした。

東京文化会館はこの時、祝祭の場となった。現在でもパイロイトやザルツブルク、ミラノやパリやウィーンで、何年かに一度起る特別な祝祭的オペラが、東京に出現した。オペラ好きにとって、いや、文化的な意味においても、上野は東の間、世界の中心になった。

ロビーに足を踏み入れただけで、それがわかったのが面白い。すぐれた建築かもしれないが、それだけで東京文化会館が特別な場所になるわけではない。別の力、つまりオペラの力が加わって、祝祭の場が出現する。そこにいる全員が、開演の前から高ぶった気持ちでいるのは明らかだった。ストレーレが演出し、アバドが指揮し、カプチリが歌うスカラ座の《シモン・ボッカネグラ》は、始まる前からこの場を呪縛していたのだ。

クライバー指揮の《ラ・ボエーム》について、同じことをくりかえすのはやめよう。当時クライバーはまだ神話的指揮者だとは見なされていなかった。イタリア・オペラの好きな人のあいだでは、けっこう批判されたのを憶えている。歌を支える役に甘んじず、感傷性をスパスパと切り捨ててゆくクライバーの指揮は、現在ではもう伝説だが、当時は人を驚かせ、尻込みさせていたのだった。それでも魔力は客席の隅々にまで及んだ。伝説の指揮者がやってきたのではなく、日本におけるクライバーの伝説が、東京文化会館でつくられていったのだった。

クライバーが神話化されてから登場したのは、1994年のウィーン国立歌劇場日本公演だった。この時の東京文化会館も、尋常じゃなかった。祝祭の場というところを通り越していた。クライバーはすでに神話的指揮者で、絶大な人気を持っていた。しかもこの時期ほとんど指揮台に立つことがなくなっていた。どこかでコンサートを指揮するといえば世界中からファンが押しかけるというくらい。それが久しぶりに指揮をする。しかもオペラだ。場所はウィーン国立歌劇場だが、ウィーンで指揮した後、ウィーン国立歌劇場とともに日本にやってくる。そして東京文化会館で6夜にわたって、ウィーン国立歌劇場



1967年7月二期会公演「ハルジファル」 指揮:若杉 弘 演出:内垣啓一 写真提供:東京二期会

の、カルロス・クライバーが指揮する、リヒャルト・シュトラウス《ばらの騎士》が上演された。

眼が血走っている人がいた。興奮して怒っている人も。東京文化会館のロビーに、穏やかにオペラを愉しもうというなんて人はいなかった。オットー・シェンク演出の舞台はずいぶん前に作られた、ごく保守的なものだったし、歌手たちの水準は高いが、突飛ではなかった。自分自身も興奮を抑えられなかったが、この時《ばらの騎士》は喜劇ではなく、オペラは楽しみではなかった。

幕が開く前、クライバーが姿を見せただけで、もうハンカチを取り出し、涙を拭き出す女性があつたのにはびっくりした。いくらなんでも早過ぎるのではないか。当時はそう思った。いまは思わない。自分にはできなかったが、あの時の女性は正しく反応していたのだと思う。

全曲が終わった後、会場は異様な興奮に包まれた。大勢の人が泣いていた。これは人から聞いた話だが、前の人が立ち上がったと言って、いきなりなぐりかかる男までいたらしい。平常な感覚ではなくなっていたわけだ。確かにオペラは洗練された文化で、娯楽でもある。しかしその奥に、他では治癒できない傷を癒すための、傷のない人には危険でさえある、劇薬としての一面があるのを、この時にま

ざまごと知った。ホフマンスタールとシュトラウスが作った喜劇は、作者たちの予想を越えた本質を露わにしてしまったようだ。東京文化会館はこの時祝祭というより祭儀の場だったのではないか。

同じ東京文化会館で、同じく外国の歌劇場の引越し公演でも、始まる時も幕がおりた後も、実に非祝典的な、陰気な空気に支配されたことがある。1991年の、ベルリン・コーミッシェ・オーパー日本公演だった。問題の上演はハリー・クプファー演出の《ラ・ボエーム》だった。

つい最近、現在のベルリン・コーミッシェ・オーパーの監督であるアンドレアス・ホモキが演出した《ラ・ボエーム》が上演された。これはいまでは歴史的な名舞台になってしまったクプファー演出の上演へのオマージュになっていて、とてもなつかしかった。もちろん、なかなか好評で、嫌がる人はいたとしても少数だったと思う。二十年近くたって、大きく変わったのだ。いまでも日本のオペラ好きはかなり保守的ではあるのだが、変ってきたのは確かだ。

ベルリンから広がったドイツの「ムジークテアター」が、ほとんど主流になった後、別の方向に進もうとしているのが現在のオペラ界で、日本も否応なくその潮流に巻き込まれている。もう東京文化会館の

ロビーで「モーツァルトなのに背広を着るなんて」などと言う人たちは、まったくではないものの、少なくなってしまった。しかし19年前の6月は違っていた。

オペラ上演の先端をゆくと言われていたベルリン・コーミッシェ・オーパーの、初めての日本公演だというのに、客席には空席もあった。ドイツの歌劇場が上演する、スター歌手が誰も出ないブッチェーニなんて、と敬遠したイタリア・オペラファンが多かったらしい。これは伝説的な《ラ・ボエーム》の上演なので、改めて詳述しないけれど、可愛い女から、積極的に、果敢に生きる女になったミミが、壮絶に、孤独に死んでゆく。隣に座っていた知人は、第2幕が終わったところで、怒って帰って行ってしまった。その第2幕というのが、カフェ・モミュスの2階からムゼッタが舞台前面にいるマルチェッロを歌で誘惑し、耐えかねたマルチェッロがもだえて服を脱ぎ始めたりするダイナミックな場面が続いた。モミュスの周囲を群衆が渦を巻くように進み、ムゼッタがマルチェッロに向かって身を踊らせて幕がおりると、もう喜びが抑えられない。だが大騒ぎする人はおろか、せせせと拍手する人だって、回りには見受けられない。ミミがぼったりと倒れて全曲が終わった後の反応といったら、それは淋しいものだった。

いまになれば納得できる。熱狂だけがオペラの栄光ではない。怒号と嘲笑で迎えられて《セビリヤの理髪師》は栄光を勝ち得た。

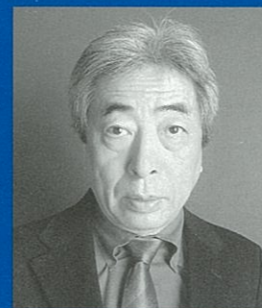
いまになれば納得できる。熱狂だけがオペラの栄光ではない。怒号と嘲笑で迎えられて《セビリヤの理髪師》は栄光を勝ち得た。



当時のイタリア歌劇団公演の模様を掲載する「音楽の友」 資料提供:音楽之友社※

《蝶々夫人》も。クプファー演出の《ラ・ボエーム》の上演は、やがて市民権を得ただけでなく、その後のオペラ上演に大きな影響を与え、伝説になった。かつてないほど陰気で淋しかった、幕間の東京文化会館のロビーも、その栄光に一役買っている。

古代世界が滅亡し、暗黒の中世がやってきたように、現代の社会や文化が崩壊してしまうとしたら、東京文化会館は廃墟となり、オペラはもう上演されなくなるだろう。その姿を想像するのは難しいことではない。少しばかり甘美味さえる。何百年後かに文明がよみがえり、東京文化会館が再建され、オペラが上演される日まで想像できるからだ。オペラはそういうもの、東京文化会館はそういう場所だ。どうして気持ちを高揚させずにいられるだろう？



堀内 修 Osamu Horiuchi

音楽評論家

1949年東京生まれ。1970年代からクラシック音楽に関する執筆活動を始め。『音楽の友』等の雑誌や『東京新聞』『朝日新聞』など新聞に、オペラや声楽中心に執筆するほか、テレビやFMなどの放送にも出演してきた。近著に『オペラ入門』（講談社・学術文庫）『モーツァルト・オペラのすべて』『オペラの名盤』（平凡社新書）『オペラと40人のスターたち』（音楽之友社）がある。

※東京文化会館音楽資料室で製本して保存しているものを音楽之友社の了解を得て掲載しました。



アリシア・デ・ラローチャ 1978.5.29 東京文化会館

©Akira KINOSHITA

スペインの至宝～アリシア・デ・ラローチャ

木之下 晃/写真文

初 来日のデビュー・コンサートを東京文化会館で行った巨匠たちは枚挙のいとまがない。その一人にピアニストのアリシア・デ・ラローチャがいる。彼女は1967年2月20日と27日の両日に、このホールで初リサイタルを開いた。43歳の彼女は、既に欧米では「ピアノの女王」として名を知られていたが、その日の大ホールの客席はガラガラだった。日本のピアノ・ファンにとって、スペインのピアニストへの興味は未だ殆どなかったみたい。ちなみに、同じ月の16日と25日に、「ウィーン3羽鳥」と称されたフリードリヒ・グールドが初来日リサイタルを開き、こちらは上々の客入りであった。

ラローチャは1923年5月23日にバルセロナで生まれた。母、叔母ともにピアニストで、スペインの名作曲家でピアノの名手であったエンリケ・グラナドスの直弟子。ラローチャも2歳からグラナドスの高弟の名教師フランク・マーシャルについてピアノをはじめた。才能はすぐに開花して、6歳の時に開催されたバルセロナ万国博で、公開演奏を行ってデビュー。しかし不幸なことに13歳の時にスペイン内戦が勃発してピアノが弾ける状況ではなくなってしまった。16歳で内戦が終わったものの、今度は第2次大戦がヨーロッパ中を震撼とさせ、彼女がヨーロッパ本土で演奏が出来たのは、戦後の1947年、24歳になってから。ところがヨーロッパ本土からみれば、スペインは傍流

で、彼女の実力を最初に認めたのはアメリカで、30歳を過ぎてからだった。

初来日のリサイタルは不入りであったが、その演奏は高く評価され、その後2～3年おきに来日が重ねられた。来日の時期は5～6月の初夏にスケジュールが組まれ、秋にはアメリカツアーを行っていた。来日回数は15回を数え、私はその殆どを撮影して、東京文化会館では73、76、78、86年にカメラを向けた。

彼女の素顔は小柄でやや小太りの柔和なスペインのオバサンといった親近感があり、温厚な人柄が音楽にしみ、年齢を重ねる程に熟し、気高さが漂っていた。プログラムには必ずスペインの作品を入れて、スペイン音楽を世界に伝える努力を生涯続けていた。

03年に日本での「お別れ演奏会」を開いた折、80歳の誕生日を東京で迎えたので、2人のお子さん（長男と長女）夫妻と長女の孫が本人に内緒でスペインから駆けつけた。大喜びした彼女は内輪だけでお祝いをして、最後の日本を楽しんでいた。

その後、バルセロナの母校、マーシャル音楽院の校長として、ピアノを教えていたが、2009年9月25日に不帰の人となった。享年86の輝かしい人生であった。

百“歌”繚乱～7月から9月のオペラ公演より

7月から9月にかけて、東京文化会館では今年最大規模のオペラ公演が相次いで行われます。それぞれが演目、出演者、演出など個性的。オペラの持つ様々な側面をたっぷり味わえるでしょう。

東京二期会「ファウストの劫罰」

7月15～18日に行われるのは東京二期会「ファウストの劫罰」。フランスの作曲家、ベルリオーズによる作品ですが、もともとオペラ作品ではありません。コンサート形式で行われるのが一般的です。しかし、「劇的物語」と題されるこの作品を「オペラ」として上演されることが近年多くなりました。

今回の指揮者はミシェル・ブラッソンです。フランス生まれで、フランス南部のトゥールーズ・キャピトル歌劇場の音楽監督を長年務めていました。いわば「フランス音楽のスペシャリスト」です。

演出は大島早紀子、ダンス・カンパニー「H・アール・カオス」を主宰し、近年はオーケストラや他ジャンルとの協演も多く、当館主催の「コラボレーションコンサート」で「ボレロ」（2005年）、「中国の不思議な役人」（2008年）、「瀨死の白鳥」（2010年）を新制作しました。オペラ演出は2007年に東京二期会「ダフネ」でデビュー、今回が二作目となります。

主演のファウストを演じるのは福井敬と樋口達哉です。福井敬は国内のオペラ公演で数多くの主演を務め、今年2月の「オテロ」でも主演を演じました。樋口達哉も数多くのオペラに出演しており、昨年10月も「蝶々夫人」でピンカートンを演じました。

また、大島早紀子の演出で欠かせないのはダンスです。オペラの中でどのような表現をするのか、注目です。H・アール・カオスで主演を務めている白河直子が今回もメインダンサーとして出演します。

トリノ王立歌劇場「椿姫」「ラ・ボエーム」

7月23日から8月1日まで上演されるのは、イタリアのトリノ王立歌劇場初来日公演「椿姫」「ラ・ボエーム」です。

両演目を指揮するのはジャンドレア・ノセダ。この劇場の音楽監督です。東京文化会館でもオペラやコンサートの両面で活躍しています。

「ラ・ボエーム」は映画監督、劇作家であり、演劇やオペラでも活躍していたジュゼッペ・パトローニ・グリッフィの演出による舞台です。主演のミミを演じるのはバルバラ・フリットリ。世界でもトップクラスの実力と華を持ち合わせています。昨年9月はミラノ・スカラ座日本公演の「ドン・カルロ」に主演し、リサイタルも開催しました。ロドルフォはマルセロ・アルバレス。日本でも数多くの公演に出演し人気も高いテノールです。ムゼッタは森麻季、マルチェッロはガブリエーレ・ヴィヴィアーニ、シヨナルはナターレ・デ・カロリスです。ちなみに、バルバラ・フリットリとナターレ・デ・カロリスは夫婦です。

「椿姫」は日本でオペラを演じるのは初めてとなるナタリー・デセイと、ロラン・ベリ（ローラン・ベリ）の演出が大きな注目を集めていま



福井敬

樋口達哉

白河直子

バルバラ・フリットリ

マルセロ・アルバレス

森麻季

©Yuji Hori

ナタリー・デセイ

マシュー・ボレンザーニ

©Raymond Edwards

ローラン・ナウリ

アンナ・ネトレブコ

©CHOPARD

※各公演の詳細は公演情報（14～19ページ）をご参照ください。

3 第6回東京六大学OB合唱連盟演奏会

3日(土) 14:30

東京六大学OB合唱連盟
荻久保和明: 男声合唱のための組曲「ゆづり、海を見た」



第5回演奏会より

4 船の会第10回演奏会

4日(日) 16:00

岸 信介(指揮) 船の会構成合唱団27団体
委嘱初演合唱曲によるステージ
委嘱作曲者: 鈴木輝昭、松下 耕、新実徳英、木下牧子、信長貴實

7 UENOの森のHIROSHI 2010

7日(水) 18:30

HIROSHI(Pf) 池田理代子(特別ゲスト)
ラヴェル: 組曲「クープランの墓」より
リスト: 小人の踊り
ショパン: ポロネーズ第5番



HIROSHI

池田理代子

15 東京二期会オペラ劇場「ファウストの劫罰」

15日(木) 19:00 16日(金) 14:00
17日(土) 14:00 18日(日) 14:00

ミシェル・プラソン(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団
二期会合唱団 H-アール・カオス(舞踊)
ファウスト: 福井 敬(15-17日)/樋口達哉(16-18日)

14日(水) 14:00
青少年のための舞台芸術体験プログラム
「ファウストの劫罰」公開リハーサル



ミシェル・プラソン

大島早紀子

林美智子

林正子 Anju

23 トリノ王立歌劇場「椿姫」

23日(金) 18:30 26日(月) 18:30
29日(木) 18:30 8月1日(日) 15:00

ジャンドレ・ノセダ(指揮)
トリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団
ヴィオレッタ: ナタリー・デセイ



「椿姫」

©Ken Howard

「ラ・ボエーム」

28日(水) 18:30 31日(土) 15:00

ジャンドレ・ノセダ(指揮) トリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団
ミミ: パルバラ・フリットリ



パルバラ・フリットリ

S39,000 A34,000 B29,000 C24,000
D19,000 E14,000 F9,000

http://www.japanarts.co.jp/

24 都民劇場音楽サークル第580回定期公演

24日(土) 19:00

ジャンドレ・ノセダ(指揮)
エリカ・グリマルディ(S) ニコラ・ウリヴィエリ(Br) カプリエレ・ヴィヴィアーニ(Br)
ヴェルディ: 歌劇「マクベス」より前奏曲、魔女の合唱、踊り、



ジャンドレ・ノセダ

Ramella & Giannone

25 第12回都響とティーンズのためのジョイントコンサート

25日(日) 14:00

現田茂夫(指揮) 樋田由美子(司会)
ブラームス: ハンガリー舞曲より第1番、第3番、第5番



現田茂夫 ©K.Miura

18:00 第28回ソレイユ音楽コンクール入賞者及び入選者発表コンサート

19:00 「神弓妙韻」許可(シュイ・クウ) ~ロマンス~

14:00 ダヴィッド カンビニオン ピアノリサイタル

19:15 The Planets 第8回記念演奏会

14:00 エマニュエル・ヌヴェー クラリネットリサイタル

5 6 休館日

7 19:00 堀井恵フルトリサイタル

8 19:00 アレッサンドロ・カルボナーレ クラリネットリサイタル

9 19:00 東京シンフォニエッタ第27回定期演奏会

10 18:00 塩谷哲ピアノコンサート2010

11 14:00 第46回日伊音楽コンソルソ2010

12 8回東京音楽コンクール第2次予選(セミファイナル)

13 12日(月) 10:30 金管部門
13日(火) 10:30 弦楽部門

14 19:00 中村初恵ソプラノリサイタル

15 19:00 奏はるひピアノリサイタル

16 19:00 日本テレマン協会定期演奏会第194回公演

17 14:00 演連コンサート222 井上静香ヴァイオリンリサイタル

18 第3回東京音楽コンクール第2次予選(セミファイナル)

19 18日(日) 10:30 声楽部門
19日(月・祝) 10:30 ピアノ部門

20 19:00 佐伯周子ヤマハCFX vs. ベーゼンドルファー弾き比べ、シュベルト完全全曲集Vol.8

21 19:00 北川靖子・北川暁子ソナタの夕べ

22 19:00 今川映美子〜シュベルトアデーデ Vol.7

23 11:00~12:00 東京文化会館モーニングコンサートVol.39

19:00 渡辺克也オーボエリサイタル「Summer Song」

24 13:30 第4回和(なごみ)〜東京芸術大学出身者が催す和楽器コンサート〜

25 15:30 二期会研究会 歌謡コンサート

26 19:00 石橋史生ピアノリサイタル

27 18:30 新作歌曲の会第12回演奏会

28 19:00 第8回アンサンブルの楽しみ

29 19:00 佐々木秋子 室内楽シリーズ「musiziereu」Vol.4

30 11:00~12:00 夏休みモーニングコンサート(ピアノリサイタルが放つ虹色クラシック)

19:00 後藤富美雄ピアノリサイタル ~ショパン生誕200年~

31 14:00 夏の音楽浴I 宮田大チエロリサイタル

1 ① トリノ王立歌劇場「椿姫」 (ヴェルディ作曲・全3幕・字幕付原語(イタリア語)上演)

1日(日)15:00
④ジャンドレ・ア・ノセダ(指揮) トリノ王立歌劇場管弦楽団・合唱団
ヴァイオレッタ: ナタリー・デゼイ
アルフレード: マシュー・ボレンザーニ
ジェルモン: ローラン・ナウリ
④ローラン・ベリ(演出)
☎S39,000 A34,000 B29,000 C24,000
D19,000 E14,000 F9,000
④ジャパン・アーツびあ ☎03-5237-7711
http://www.japanarts.co.jp/



ナタリー・デゼイ © Ken Howard

2 ① 東京文化会館「響の森」vol.28 清水和音 3大ピアノコンチェルトに挑む

2日(月)19:00
④大友直人(指揮) 清水和音(Pf) 東京都交響楽団
④ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番
リスト: ピアノ協奏曲第1番
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番
☎S6,000 A4,000 B2,000 ※詳細は4ページをご覧ください。
④東京文化会館事業企画課 ☎03-3828-2111
http://www.t-bunka.jp/



清水和音 © K.Mizura

4 ② 夏休み子ども音楽会2010「上野の森文化探検」

4日(水)11:00
④大友直人(指揮とお話) 東京都交響楽団
④ワーグナー: 歌劇「ローエングリン」より第3幕への前奏曲
J.シュトラウス2世: ポルカ「狩」
チャイコフスキー: 交響曲第6番「悲愴」より第2楽章
ブリテン: 「シンプル・シンフォニー」より第2楽章
フォーレ: パヴァーヌ
ジョン・ウィリアムズ: 交響組曲「スター・ウォーズ」より
“王座の間とエンド・タイトル”
坂本龍一: 映画「戦場のメリークリスマス」テーマ
富田勲: 「新日本紀行」オープニングテーマ
レスピーギ: 「ローマの松」より「アッピア街道の松”
☎S3,000 A2,000 B1,000 小中学生1,000 ※詳細は3ページをご覧ください。
④東京文化会館事業企画課 ☎03-3828-2111 http://www.t-bunka.jp/



大友直人 © Kaburagi-amanogroup

4 ② 夏休みバックステージツアー

4日(水)13:30 5日(木)11:00/14:00
④参加費200(保険料含む・各回定員100名・小学生以上) ※詳細は3ページをご覧ください。
④東京文化会館事業企画課 ☎03-3828-2111
http://www.t-bunka.jp/

1 ① 14:00 夏の音楽浴II 北村朋幹 ピアノリサイタル
④北村朋幹(Pf)
④J.S.バッハ/ブゾーニ: ショコンヌ 他
☎指定1回券3,000 ペア券5,000 夏の音楽浴I(7/31と)のセット券5,000
④東京文化会館事業企画課 ☎03-3828-2111 http://www.t-bunka.jp/

2 ① 19:00 東京ベートーヴェンカルテット第22回定期演奏会
④山中光(Vn) 田村昭博(Vn) 中川裕美子(Va) 奈切敏郎(Vc)
④ブルックナー: 弦楽四重奏の島のロンド ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第11番「セリオーン」
シューマン: 弦楽四重奏曲第1番
☎自由4,500 ④ユー・アーツ音楽事務所 ☎03-5310-5275

3 ① 11:00~12:00 夏休みモーニングコンサート(ソプラノデュオのおいしいクラシック)
④駒井ゆり子(S) 田中麻理(S) 岩崎智子(Pf)
④【第1部】ソプラノ・デュオの響き~ ヘンデル、メンデルスゾーン、フォーレの歌曲から
【第2部】オリジナル・オペレッタ「お料理・ボンジュール」~
☎自由500 ④東京文化会館事業企画課 ☎03-3828-2111 http://www.t-bunka.jp/

① 19:00 日本合唱協会第171回定期演奏会「シューマン生誕200年記念 合唱作品の夕」
④山崎滋(指揮) 小田裕之(Pf)
④シューマン: ロマンズとバラード op.67、流浪の民、女声のためのロマンス 他
☎指定4,000(当日4,400) 自由3,500(当日3,800) 65歳以上2,500* ペア5,500*
高校生以下1,500* ※前売のみ ④日唱 ☎03-3791-4088 http://www2.odn.ne.jp/nishso/

4 ① 19:00 松本克巳ヴァイオリンリサイタル
④松本克巳(Vn) 清水将仁(Pf)
④リリー ブラジレ: 春の朝に、夜想曲、行列 フォーレ: 夢のあとに ヴィタリ: ショコンヌ
サン＝サーンス: ヴァイオリンソナタ第1番 グリーグ: ヴァイオリンソナタ第3番
☎自由3,500 ④松本克巳コンサート委員会 ☎049-281-3644 t-human@wood.dti2.ne.jp

5 ① 19:00 小森輝彦 & 服部容子デュオリサイタルvol.6
④小森輝彦(Br) 服部容子(Pf)
④ショパン: バラード4番 トビュッシー: 「前奏曲集」より シューマン: リーダークライス
トマ: 歌劇「ハムレット」より「ハムレットのアリア」 マスネ: 歌劇「エロディアド」より「エロディのアリア」 他
☎S5,000 A4,000 学生2,500 ④センター・ヴィレッジ ☎03-5367-8345 http://cvmf.jp/duo/

●掲載情報は2010年5月5日現在のものです。
●主催者およびその他の都合により、公演内容が変更になる場合がございます。また、公演日、席種によって、チケットがご用意できない場合がございます。詳しくは、各主催者にお問い合わせください。

改修工事休館のお知らせ

当館は改修工事のため
8月6日(金)~9月4日(土)まで休館します。

尚、期間中、一部施設で下記のとおり営業を行います。

- 臨時営業日
■音楽資料室...9月1日~4日 13:00~20:00
■フラワーショップ「カドー」...9月1日~4日 10:00~18:00
■レストラン「フォレストィユ」...9月1日~4日 11:00~18:00
■テラス茶廊「café HIBIKI」...8月17日~9月4日 11:00~20:30
■ギフトショップ...9月1日~4日 11:00~19:00
■チケットサービス...工事休館中も営業いたします。(※8月10日~16日を除く)
窓口・電話 10:00~19:00
■都響ガイド...工事休館中も営業いたします。(※8月10日~16日を除く)
窓口・電話 平日 10:00~19:00
土 10:00~17:00
日祝 休み
8月9日、8月17日~20日は短縮営業 10:00~18:00

皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますよう、
よろしくご申し上げます。

第8回 東京音楽コンクール

東京音楽コンクールは、将来の音楽界を担う、才能あふれるアーティストの発掘と育成・支援を目的として開催し、過去の入賞者の中から、第一線の音楽シーンで活躍する若手音楽家が続々と誕生しています。
第8回はピアノ、弦楽、金管、声乐の4部門を開催。4月21日から5月20日まで応募を受け付けました。6月の第1次予選(MD・CD審査・非公開)、7月の第2次予選(東京文化会館小ホール・公開審査)を経て、8月23日から27日の間の4日間、予選を勝ち抜いた各部門それぞれ4名(予定)の若き挑戦者が東京芸術劇場大ホールでの本選に臨みます。本選では各部門でお客様による投票を行い、最も多い票を得た出場者に「聴衆賞」を贈ります。また、本選終了後に審査結果発表及び表彰式を開催します。是非、感動の瞬間にお立ち会いください!

■審査委員/統括責任者: 大友直人
ピアノ部門: 伊藤恵、清水和音、田部京子
弦楽部門: 大谷康子、川本嘉子、木越洋、前橋汀子
金管部門: 兼田晃、津堅直弘、松崎裕
声乐部門: 大倉由紀枝、大島幾雄、永井和子
部門共通: 堤剛(コンクール顧問)
池田卓夫(日本経済新聞社文化部編集委員)
守屋新(東京都交響楽団チーフ・プロデューサー)



第7回東京音楽コンクール本選より 加藤大樹(ピアノ部門第1位)

第8回東京音楽コンクール本選は、東京文化会館改修工事休館のため、会場が東京芸術劇場大ホールとなります。

第2次予選(セミファイナル)

■10:30開演(10:00開場) ■会場/東京文化会館小ホール
■出演/第1次予選通過者(6月25日までに発表予定)

- 7月12日(月) 金管部門
7月13日(火) 弦楽部門
7月18日(日) 声乐部門
7月19日(月・祝) ピアノ部門

■料金/全席自由 各部門500円
<チケット取扱い>東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

本選(ファイナル)

■18:00開演(17:30開場) ■会場/東京芸術劇場大ホール (JR・私鉄・東京メトロ池袋駅西口徒歩2分)
■出演/第2次予選通過者(第2次予選当日に発表)

- 8月23日(月) 声乐部門 指揮: 渡邊一正 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
8月24日(火) 金管部門 指揮: 梅田俊明 管弦楽: 日本フィルハーモニー交響楽団
8月26日(木) ピアノ部門 指揮: 梅田俊明 管弦楽: 日本フィルハーモニー交響楽団
8月27日(金) 弦楽部門 指揮: 円光寺雅彦 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

■料金/全席指定 一般2,000円
シルバー(65歳以上)、ハンディキャップ、友の会会員1,500円
ジュニア(18歳未満)、学生1,000円
<チケット取扱い>東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707
ローソンチケット 0570-000-407
イープラス http://eplus.jp/

※審査の都合により、途中で演奏を打ち切ることがあります。(第2次予選のみ)
※審査委員席及び一部の客席にはお座りいただけません。
※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。



渡邊一正 © 梅田俊



梅田俊明 © K.Mizura



円光寺雅彦 © 三浦興一

11 英国ロイヤル・オペラ「マノン」 (マスネ作曲・全5幕・字幕付原語(フランス語)上演) 11日(土)15:00 14日(火)16:00 17日(金)18:00 20日(月)15:00

23 ユニセフチャリティ 台東区ジュニアオーケストラ30周年記念第30回定期演奏会 23日(木)13:30

25 合唱団白樺創立60周年記念第55回定期演奏会 25日(土)14:30

26 都民交響楽団第110回定期演奏会 26日(日)14:00

29 東京文化会館公開リハーサル 29日(火)11:30

30 東京都交響楽団第703回定期演奏会 30日(木)19:00

東京文化会館チケットサービスのご案内 当館で開催される公演のチケットをご購入いただけます。...

1 休館日 4 休館日 5 14:00 都響メンバーによる室内楽トークコンサートVol.4<小山実稚恵の「ます」> 6 19:00 松浦健ピアノリサイタル 7 19:00 堀米ゆず子ヴァイオリンワークスV~「音楽の旅-叙情を求めて」 8 11:00 創造・楽落らいぶ Vol.13 -音楽家と落語家のコラボレーション- 9 19:00 コンラッド・ジャンー パリトニサイタル 10 19:00 草野明子ピアノリサイタル-シューマンの情景Vol.3- 11 14:00 ヤナーチェク弦楽四重奏団演奏会(共演:シャオ・ロン 中国琵琶) 12 14:00 トリオ・ミニストレル コンサートツアー-2010 13 19:00 白石光隆ピアノリサイタルVol.23 14 19:00 高田匡隆ピアノリサイタル 15 11:00~12:00 東京文化会館モーニングコンサートVol.40 16 18:30 中村由利子 ピアノファンタジーvol.21

17 18:45 日本モーツァルト協会9月例会 「モーツァルトからインスピレーション得た曲」シリーズI~モーツァルトをギターに乗せて~ 18 14:00 天満敦子 無伴奏ヴァイオリンコンサート 19 14:00 長谷川陽子チェロリサイタル~チェロの個展2010~ 20 14:00 演連コンサート223 里山陽子クラリネットリサイタル 21 19:00 二期会イタリア歌曲研究会XLIII イタリア近代歌曲の夕べXXXIII 22 19:00 国光ともこソプラノリサイタル(東京音楽コンクール入賞者リサイタル) 23 14:30 ムスカシはおもしろい!~古典四重奏団のベートーヴェン2010(レクチャー付) 24 19:00 古典音楽協会第143回定期演奏会「ドイツバロックの巨匠ヘンデルとテレマン」 25 19:00 福富彩子ピアノリサイタル(東京音楽コンクール入賞者リサイタル) 26 15:00 渡邊規久雄ピアノリサイタル~シベリウスを弾くvol.3~ 27 休館日 28 休館日 29 19:00 エンリコ・オノフリ〜バロック・ヴァイオリン・リサイタル 30 19:00 二期会ロシア歌曲研究会第14回定期演奏会(ラフマニノフ歌曲のすべてNo.1)

●掲載情報は2010年5月5日現在のものです。 ●主催者およびその他の都合により、公演内容が変更になる場合がございます。また、公演日、席種によって、チケットがご用意できない場合もございます。詳しくは、各主催者にお問い合わせください。

レクチャーコンサート《祖国への愛》シリーズ 第1回 6/18

ナビゲーターをつとめるピアニスト、伊藤恵の音源資料と、レクチャーで取り上げられる作曲家に関する図書をご紹介します。

1 ●CD (請求記号 5J6.07) 「シューベルト ピアノ作品集 1」 シューベルト/ピアノ/ソナタ第13番 イ長調 D664, op.120 ほか



伊藤恵

2 ●図書 (請求記号 6.9-C455K-2004) 「ショパン(作曲家 人と作品シリーズ)」 小坂裕子 著

3 ●図書 (請求記号 6.9-Sch780) 「シューベルトとウィーン」 チャールズ・オズボーン 著、岡美知子 訳

夏休みモーニングコンサート 7/30 8/3

プログラム曲の音源資料をご紹介します。

4 ●CD (請求記号 2G4.47) 「ベートーヴェン/ピアノ三重奏曲第5番 二長調 op.70-1「幽霊」

5 ●LP (請求記号 M37.9) 「メンデルスゾーン/挨拶、秋の歌 ほか」

東京文化会館《響の森》Vol.28 清水和音 3大ピアノコンチェルトに挑む 8/2

プログラム曲の中から、清水和音による演奏の音源資料をご紹介します。

6 ●CD (請求記号 1E5.76) リスト/ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 ほか



清水和音

●資料室ご案内 東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。

大ホールの公演から

いずれも新制作(新演出)となる東京二期会、英国ロイヤル・オペラの公演と、初来日するトリノ王立歌劇場のプログラム曲の映像資料をご紹介します。

7 ●LD (請求記号 ALD940-941) 劇的物語「ファウストの劫罰」全曲 (ベルリオーズ作曲)

8 ●DVD (請求記号 DVD620) 歌劇「ラ・ボエーム」 (ブッチーニ作曲)

9 ●DVD (請求記号 DVD1134-1135) 歌劇「マノン」 (マスネ作曲)

小ホールの演奏会から

小ホールで行われるコンサートの中から、次の3点をご紹介します。

10 ●CD (請求記号 1H8.29) 許可/風韻、王健民/天山風情 ほか

11 ●CD (請求記号 1H5.14) A.ジャンピエリ/ヴェニスへの謝肉祭 ほか

12 ●LP (請求記号 T103.1) シューベルト/歌曲集「冬の旅」 op.89(D.911)

※当資料室には、この他にもさまざまな資料がありますので、是非ご利用ください。

●開室時間 火曜～土曜 13時～20時(コピー受付 18時30分まで)

あなただけの指定席で都響定期をお聴きになりませんか?

音脈読者のみなさま、いかがお過ごしでしょうか?

東京都交響楽団では、6月30日(水)から定期演奏会の後期シーズン会員券(11月～2011年3月)を発売いたします。

後期シーズンの東京文化会館(Aシリーズ)のプログラム、まずは11月、都響プリンシパル・コンダクターのエアラフ・インバルが登場。

定期演奏会Aシリーズ【後期シーズン会員券(全4回)】各回19時開演 東京文化会館 6/30(水)発売!

第706回 11/29(月) 1回券7/21発売 指揮 ●エアラフ・インバル ヴァイオリン ●四方恭子



エアラフ・インバル



四方恭子

第709回 12/20(月) 1回券9/22発売 指揮 ●ヤクブ・フルシヤ ピアノ ●ニコライ・ルガンスキー



ヤクブ・フルシヤ



ニコライ・ルガンスキー

第711回 2011.1/24(月) 1回券9/22発売 指揮 ●ヨナタン・シュトックハンマー サクソフォン ●須川展也 ピアノ ●永野英樹



ヨナタン・シュトックハンマー



須川展也



永野英樹



吉野直子

第712回 2011.3/23(水) 1回券10/27発売 指揮 ●エアラフ・インバル ピアノ ●児玉桃



エアラフ・インバル



児玉桃

Table with 6 columns: TICKET, S席, A席, B席, C席, Ex席. Rows include 後期会員券(全4回), シルバーエイジ会員, ジュニア(18歳未満)学生会員, and 1回券 for 706-712 and 709-711.

7~9月公演も好評発売中!

第12回 都響とティーンズのためのジョイントコンサート 7/25(日)14時 大ホール

Table with 4 columns: TICKET, S席¥3,000, A席¥2,000, 自由席¥1,000

都響メンバーによる室内楽トークコンサートVol.4 小山実稚恵の「ます」 9/5(日)14時 小ホール

Table with 4 columns: TICKET, S席¥4,000, A席¥3,000

第703回定期演奏会Aシリーズ 9/30(木)19時 大ホール

指揮/アレクサンドル・ドミトリエフ ピアノ/マルク・ラフォレ

Table with 6 columns: TICKET, S席¥6,500, A席¥5,500, B席¥4,500, C席¥3,500, Ex席¥1,800

●ご予約とお問合せ ■ジュニア(18歳未満)学生割引/シルバーエイジ割引(65歳以上) ハンディキャップ割引/その他各種割引あり(詳しくはお問合せください)

8月9日(月)・17日(火)~20日(金)/10~18時(短縮営業) 8月10日(火)~16日(月)/休業(東京文化会館停電のため)

読者の声

東京・春・音楽祭の東条氏の寄稿で、東京文化会館ができた50年前に、残響ゼロの日比谷公会堂と比較して、響きすぎるとの不満がだされたと聞いて驚きました。サントリーホールは、更に残響が長く演奏がしにくいとの評価があったとの事。素晴らしいコンサートホールも出来たての時は色々言われたんですね。今では考えられない事です。

碓 直樹

裏表紙に座席表が載っており、文化会館がこのような構造とあらためて知りました。上野に出かけるときは時間をたっぷりって、コンサート、博物館、食事を楽しみたいと思います。

神場 純江

READER'S VOICE

他所の公演会場のガイドパンフレット等は殆ど公演カレンダーだけですが、音脈は巻頭の特集記事が豊富なだけでなく、内容も文化の香り高いもので、毎号入手する度に感心しています。

鈴木 潔

東京文化会館友の会「Club Wa-Wa」のご案内

最新の特典情報【先行発売・割引情報・公演招待等】は、東京文化会館ホームページからご覧頂けます。友の会では会報誌Letter Club Wa-Waを月1回発行しています。

■年会費

推奨 ベーシックプラン(ホームページ、メールマガジン)¥2,100
クラシックプラン(会報誌ご郵送)¥2,625

■特典内容

- チケット割引販売 5~30%OFF
東京文化会館自主事業(一部公演を除く)をはじめ、東京文化会館が指定する公演のチケットを会員価格でご購入いただけます。
- チケット先行販売
東京文化会館が指定する公演のチケットを一般発売日前に購入いただけます。
- 公演招待
東京文化会館が指定する公演に抽選で会員の方をご招待
- 館内のレストラン・ショップの割引販売
東京文化会館内のレストランフォレストィーユとギフトショップで5%割引(一部対象外商品有)
- 広報誌の郵送
東京文化会館で年4回発行する広報誌「音脈・公演情報」をご自宅へご郵送
- 公益財団法人 東京都歴史文化財団の運営する施設の入館料等の割引(割引率につきましては、各施設により異なります)

お問合せ : 東京文化会館友の会事務局 TEL.03-3828-1696
(平日9:00~17:00 夏期休業:8月10-16、21-29日)
お申し込み : ○ご来館 東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)
○当館HP <http://www.t-bunka.jp/wawa/how.html>(24時間受付)

PRESENT

ご希望のプレゼント、また「音脈・公演情報」に対してのご意見やご感想、今後取り上げて欲しいテーマなどを明記の上、下記まで郵送またはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

- ①夏@東京文化会館
夏の音楽浴 招待券
7月31日(土) 8月1日(日) 各14:00開演
《響の森》Vol.28招待券
8月2日(月) 19:00開演
公演の詳細は2ページ参照。
- ②第8回東京音楽コンクール 本選招待券
*会場:東京芸術劇場大ホール
8月23日(月) 声楽部門 18:00開演
8月24日(火) 金管部門 18:00開演
8月26日(木) ピアノ部門 18:00開演
8月27日(金) 弦楽部門 18:00開演
公演の詳細は14ページ参照。

①各日2組4名様 ②各日5組10名様

7月10日(土)必着

〒110-8716 台東区上野公園5-45
東京文化会館「音脈・公演情報」編集部「読者の声」係
E-mail:oto@t-bunka.jp

■カフェ

café HIBIKI

都会の喧噪から離れ
お気軽にご利用いただける
オープンカフェゾーンです。

夏季限定ビアテラスオープン
7月1日より9月20日まで
17:00~20:30(ラストオーダー20:00)
但し、8/6~8/16は休館となります。
雨天時休業する事もありますので下記へ
お問合せ下さい。

TEL&FAX 03-3821-9151
(東京文化会館1階・国立西洋美術館側)



■ギフトショップ&チケットサービス

東京文化会館ギフトショップ

東京文化会館オリジナルチケットホルダー
1枚350円で大好評販売中です
みなさまのお越しをお待ちしております。
(友の会会員5%OFF)

TEL 03-3828-2223
FAX 03-3828-2224



「音楽」と「上野の森」をモチーフにしました。

東京文化会館チケットサービス

TEL 03-5685-0650
(東京文化会館1階正面口入って左)


■フラワーショップ

CADEAUX
カドー

花は空間に落ち着きをもたらし、
人の心を癒します…
大切な人に季節のフラワーを…
季節の花であしらった花束・アレンジメント
を用意してお待ちしております。
電話・FAXでのご予約も承ります。


TEL&FAX 03-3828-8741
(東京文化会館1階・受付正面)





Forestier


フォレストィーユ



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



五野精養軒

TEL 03-3821-9151
(東京文化会館 2階)